第４学年　社会科学習指導案

１　単元名　　わたしたちの県のまちづくり　（小単元　新潟を発信～佐渡の宝～）

２　単元の目標

新潟県の地理的位置，地形や産業，県内の特色ある地域の様子，国内の他地域や外国とのかかわりを意欲的に調べ，自分たちの住んでいる県の特色やよさを考えようとしている。	社会的事象への関心・意欲・態度
新潟県内の地域の特色を相互に比較し，自分たちの住んでいる県の特色を考え適切に表現している。	社会的な思考力･判断力・表現力
新潟県の地図や資料，グラフなどから，必要な情報を収集したり読み取ったりして，まとめることができる。	資料活用の技能
新潟県の地形や主な産業の特色，交通網の様子，地域の人々の生活の様子などを理解することができる。	社会的事象についての知識・理解

３　単元と児童

（１）小単元について

これまで活用してきた「わたしたちの政令市新潟」「わたしたちの新潟県」等の資料の他，本小単元からは，佐渡に関する図書・各市町村で発行されているふるさと読本・各市町村発行の観光パンフレット等も活用しながら調べ学習を行わせる。また，ゲストティーチャーによる学習の時間も設定する。

都道府県ランキング（「新潟の魅力ランキングが３５位→３１位」「自慢できる都道府県ランキングが３２位→２６位」「食事がおいしいランキングが９位→４位」（２０１８年の調査データ））から，４７都道府県内の新潟のランキングを確認し，新潟の魅力が上昇傾向にあることを知らせる。さらに，新潟のよさをアピールするために，「新潟を発信，〇〇の宝」という単元を設定し，小単元の学習活動に取り組ませていく。

（２）児童について

・　本小単元に入る前に，４７都道府県の中での新潟県の位置関係，県庁所在地である新潟市の位置関係と近隣市町村，地形、新潟県の主な産業・交通網の様子などを学習している。大まかな県内市町村の特徴を，児童本人が知っていることと合わせて，保護者への聞き取りも行い，各市町村の特徴をつかみ，「新潟県の自慢」として書き出した。

・　各教科で，班での話し合い活動を取り入れている。また，前期の総合学習では，関心のあるテーマごとにグループになり，調べる内容や発表の分担などを児童に考えさせたり，グループ内での相談の時間を設けたりしてきた。国語「みんなで新聞を作ろう」では，載せる記事を話し合ったり記事を書く分担を行ったりした。話しあいの中で折り合いを付ける場面もあり，本単元でも生かせると考える。

・　図書やインターネットを活用したり，インタビューをメモしたりする活動では，端的にキーワードや必要事項を記録できる児童は多くはない。また，総合の調べ学習では，テーマから反れてしまった児童もいた。担任がチェックする過程が必要であった。

（３）　単元の指導計画　全１５時間

第１次（２時間）	○新潟県内の市町村の特色や特産物を資料から調べる。 ○新潟の魅力・自慢・食事ランキングが向上していることを知らせ，単元を通して新潟の魅力をさらに伝えることを課題とする。
第２次（６時間）	○佐渡の地形・地名・交通について調べる。 ○佐渡市の特色を４つの窓（「自然」「産業」「歴史（昔，盛んだった。）」「祭り・文化・伝統工芸」）から分担して調べる。　（本時５／１５時） ○自分の調べたことを文章にまとめたり，各班内で調べたことを紹介したりする。 ○「新潟を発信～佐渡の宝ガイド～」を作る。 ※ゲストティーチャーを招いて話を伺う。
第３次（６時間）	○北区（豊栄）・十日町市・上越市安塚区の地形・地名・交通について調べる。 ○北区（豊栄）・十日町市・上越市安塚区・その他の市町村の特色を４つの窓（「自然」「産業」「歴史（昔，盛んだった。）」「祭り・文化・伝統工芸」）から分担して調べる。 ○自分の調べたことを文章にまとめたり，各班内で調べたことを紹介したりする。 ○「新潟を発信～○○の宝ガイド～（パート２）」として紹介する。 ※上記以外の市町村に取り組んでもよいこととする。
第４次（１時間）	○新潟をＰＲする紹介文を書く。

（４）指導の手立て

①単元を通した目標設定

４７都道府県中の新潟のランキング（魅力・自慢・食事）が上昇していることを踏まえ，さらに新潟のよさをピーアールするために，新潟県内の市町村のよさを「○○の宝ガイド」としてまとめるように進めていく。

②ゲストティーチャーによる話と紙芝居「こがねの山」

佐渡を世界遺産にしようと活動している方の話を聞いたり，紙芝居の読み聞かせを聞いたりすることで，佐渡の文化遺産を知り，児童の伝えたいという関心を高める。

③新潟のよさを伝えるための４つのテーマ

地形・地名・交通について学習した後，○○の宝ガイドの作成に焦点を絞り，「自然」「産業」「歴史（昔，盛んだった。）」「祭り・文化・伝統工芸」の４つの窓に基づいて調べることにする。

４つに分担することは，児童にとって自分のテーマが調べやすくなり，自分自身の理解がしやすくなる。そのため，文章でまとめたり友達に伝えたりする際も，分かりやすく行うことができるものと考える。

④わたしたちの新潟県・わたしたちの○○市・図書・パンフレット・新聞等の活用

個人が所有している資料をはじめとして，調べる市町村に必要な図書やパンフレットなどを司書との連携を図りながら収集する。児童が，自分のテーマに添った内容のページに付箋をつけながら，調べることとする。

⑤互いの調べを交流させる場の設定とワークシートの工夫

調べたテーマについて伝え合う時間を設ける。伝え合うことで，他の児童から情報を得，その市町村のよさをさらに知ることができると考える。

ワークシートには，使用する資料をあらかじめ記入し，資料からの引用がすぐに書けるようにする。また，児童が，段階を追って資料を調べることができるように作成しておく。

⑥「新潟県の宝」をＰＲする紹介文

班で活動してきたことから，自分自身が調べていない市町村やテーマがある。そこで，自分が調べた市町村やテーマをはじめ，友達が調べた市町村のよさを踏まえて，個人で新潟県のよさを伝える文を作成し，新潟県の理解を広げたり深めたりしたい。

４　本時の指導（５/１５時間）

（１）本時のねらい

佐渡の宝について調べたいテーマを決め，資料を活用したり交流したりすることを通して，その理由が分かる。

（２）本時の構想

①課題づくりの過程

前時までに調べた佐渡の宝の中から，トライアスロンの写真を提示する。そして，この大会ができる理由を問うことで，その地域の宝となった理由を考える方向付けを行い，本時の課題につなげていく。

②魅力についての理由を調べる視点の提示

自分が調べるテーマを決める際の視点を与え，調べる方向性がそれないようにしたり，資料やパンフレットから必要な個所を探しやすいようにしたりする。また，調べる宝にテーマの書き方が合っていることを班内で確認する時間を設ける。

・〇〇が増えてきたのはなぜか。（トキ）
・〇〇がたくさんとれる（作られている）のはなぜか。（漁業・柿）
・〇〇が発展（さかんだった）していたのはなぜか。（金銀山）
・〇〇が大切にされているのはなぜか。（トキ・金銀山など）
・〇〇が昔から続けられているのはなぜか。（鬼太鼓・能楽など）
・〇〇が行われているのはなぜか。（たらい舟など）

③資料やパンフレットなどの活用

「わたしたちの新潟県」「わたしたちの佐渡」「トキの島からこんにちは」といった副読本の資料を中心とするが，パンフレットや週刊「ふむふむ」も活用できるようにしておく。自分が任されたテーマを中心に調べるが，見つけることが難しい場合は，他のテーマについて調べたり，班の友達に相談したりしてもよいこととする。

④調べた理由について話し合う場の設定

各自で調べた後，佐渡の宝となった理由について伝え合う時間を設定する。話し合いの中で，友達から情報を得，その理由がより明確になる。また，自分が調べているテーマ以外の理由も分かり，佐渡の宝を知る情報が増えるはずである。

⑤各宝の理由をカテゴリーにまとめること

児童から出された理由を，「自然」「人」「歴史」「生かす」などのカテゴリーに分類することで，本時の課題に対するまとめに結びつけていきたい。

（３）本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	留意点
１　本時の学習問題をつかみ，学習課題を立てる。 （７分）	Ｔ１　前の時間までに，佐渡の宝が分かりました。 自然　海，トキ ，カンゾウ 産業　いか, ぶり, かき, 柿，米 歴史　金銀山 祭り･文化・伝統工芸 たらい舟，鬼太鼓，竹細工，裂き織り	○「佐渡の宝」として，前時に調べたことを４つの窓に分けて掲示しておく。
	Ｔ２　この写真は, 見てください。佐渡で行われる大会です。 Ｃ１　泳いだり，走っている。 Ｃ２　自転車にも乗るんだ。 Ｃ３　見たことある。トライアスロンでしょ。 Ｔ３　佐渡でトライアスロンが続けられている（大切にされているいる）のはなぜでしょう。 Ｃ４　島の周りが全て海。広い海。 Ｃ５　海がきれいだって聞いたことがある。	○トライアスロンの写真を提示し，そのまちならではの魅力について調べることに意識を向ける。
	Ｔ４　先生がその理由を調べてきたので，紹介します。 ・海がきれい。 ・美しい自然の中でできる。 ・島の人とボランテイアのみなさんの協力。 ・佐渡の人々の声援が素晴らしい。 これらの理由は，「わたしたちの新潟県」や「わたしたちの佐渡」に書かれていました。 地域の宝ができるには，それぞれ理由があります。今日はそのことについて勉強します。学習課題はどうしたらよいでしょう。	○担任が調べたことを紹介する。 ○ワークシートの書き方を示す。 ○調べた副読本（資料）についても紹介する。

２　佐渡の宝についての理由を自分のテーマを中心に調べる。　（２０分） ３　全体で発表し共通理解する。 （１０分）	佐渡の宝は，どんな理由でできたのだろうか。 Ｔ５　自分のテーマの「なぜ」を書きましょう。 調べる「なぜ」が決まったら，調べましょう。 Ｃ６自然　（トキが増えたのはなぜか） ・トキにとってよい環境を作っている。 ・トキが安心して暮らせるように島の人が努力している。 ・トキのえさ場を作っている。 ・トキを自然に帰す取り組みをしている。 Ｃ７産業（ぶりがたくさんとれるのはなぜか。） （柿がたくさん作られているのはなぜか。） （米がたくさん作られているはなぜか。） ・周りを海で囲まれている。 ・佐渡の周りは，暖流と寒流が流れている。 ・森がプランクトンを作り出している。 ・大佐渡の山が季節風を防ぎ，冬でもとれる。 ・杉田清さんが山形から八珍柿の苗木を持ち帰った。 ・暖かい気候（「対馬海流」の影響）が柿によい。 ・柿を大きくしたり色づきをよくしたりする。 ・柿はいろいろに加工できる。 ・広い国仲平野がある。 ・大佐渡，小佐渡から流れる川がある。 ・化学肥料や農薬を減らしている。 Ｃ8歴史（金銀がたくさんとれたのはなぜか。） （金銀山を大切にしているのはなぜか。） ・金銀の生産に使う鉛が運ばれた。 ・大久保長安の対策がよかった。（精れん法） ・金銀が江戸幕府の財政であった。 ・水かえの人手を増やした。 Ｃ９祭り・文化・伝統工芸 （昔から続いているのはなぜか。）	○理由の書き方「６つの視点」を提示する。 ○調べる宝にテーマの書き方が合っていることを班内で確認する。 ○理由が書かれている箇所を見つける時間を設ける。 ○ワークシートには理由と併せてページを記入させる。 ○可能な児童は，パンフレットや新聞にも情報収集の巾を広げる。 ○自分のテーマの理由が見つけられない場合は，友達と相談したり，他のテーマでの理由探しでもよいことにしたりする。 ○各４つの窓について佐渡の宝が継続・発展した理由を板書する。 ■自分のテーマについての理由を見つけることができる。

4　４つの窓の共通点を考え，課題のまとめを行う。 （４分）	・流人，金銀山，廻船がもたらした。 ・子どもたたちが受け継いでいる。 ・大久保長安が能を奨励した。 Ｔ６　「４つの窓」の共通点は何でしょう。 Ｃ10　よい自然があったから魚がとれたり，果物 を作れたりした。 Ｃ11　昔の人の努力やがんばりがあった。 Ｃ12　佐渡に来た人や物がつくった。 Ｃ13　今の人が環境を守ったり，受け継いだりしている。 Ｔ7　今日の課題についてまとめしょう。 ①作ること，とることにちょうどよい自然 （土地・海・気候） ②歴史がつくりだしたもの ③人々の努力 によって，佐渡の宝ができた。	○全体で意見交換した内容を生かし，カテゴリーに分類しながら，学習課題に対するまとめを行う。
5　佐渡についての気付き，友達との交流を通しての気付きなどを書く。 （４分）	きましょう。 Ｃ14　海があるから魚が採れるというだけではなく，魚が採れるよい海の環境があるから，魚がたくさん採れことが分かりました。 Ｃ15　育てたり採ったりりする物は，自然と関係が大きいことが分かりました。 Ｃ16　○○さんが理由が書かれているページを教えてくれたので分かりました。トキを増やすために佐渡の人々ががんばっていたことが分かりました。	■地域の特色は諸条件によって決まることに気付く。

（４）本時の評価

○必要な資料を用い，自分が調べる佐渡の宝について，その理由を見つけることができる。

Ａ評価　３つ以上探すことができた。

Ｂ評価　１～２つ探すことができた。

調べ学習　ワークシート　　４年　組

① 大テーマを決めましょう！　（※自分が調べる大テーマに〇をつける。）

② 自分のテーマを決めましょう。

③ ②の自然・産業・歴史・祭り・文化・伝統工芸がさかんになった理由を書きましょう。

④ 資料や図書のページを書きましょう。

⑤ 伝えることを文にまとめましょう。

※少し調べてみて，調べることがむずかしいことに気がついたり，のっている本が見つけられなかったりしたときは，先生に聞きましょう。

①

「自然」

「産業（農業・漁業・工業）」

「歴史」（昔，さかん）

「祭り・文化・伝統工芸」

②

《わたしたちの新潟県》

③	④
③	④
③	④

《わたしたちの佐渡》

③	④
③	④
③	④

《トキの島からこんにちは》

③	④
③	④
③	④

《パンフレット・ふむふむ・その他》

③	④
③	④
③	④

⑤調べたことを「新潟を発信～佐渡の宝～」ガイドに書きます。伝えることを文にまとめましょう。